

原子力空母って

NO CVN

原子力空母反対集会

2025. **12.7** (日)

時間 14:00 場所 ヴェルニー公園

終了後パレードを行います



ベトナム戦争
イラク戦争
アフغانستان
などへの、米軍の
出撃拠点となりました



横須賀の米空母母港化は1973年に開始。当時の政府は配備を「おおむね3年」としてきましたが、この約束をほごにして、50年以上居座っています。さらに、2015年から原子力空母に交代。全長約33メートル、排水量約10万トンに上り、原子炉2基を動力源とする「動く原発」への市民の不安は根強いものがあります。

終了後デモ行進を行います
ご近所の方々の
ご理解・ご協力をお願いします

必要ですか

QR

主催：安保廃棄神奈川県統一促進会議 045-201-3684

原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

協賛：安保破棄実行委員会 03-3364-4764

2024年11月22日 最新鋭の米空母

ジョージ・ワシントン が配備されました

新しく発足した高市自維政権は就任早々、安保三文書の改定、防衛費2%前倒し、非核三原則の見直しを検討し、トランプ大統領とは横須賀米軍基地で軍事同盟の拡大強化とさらなる軍備増強を約束しました。

すでに横須賀は、米原子力空母の拠点となっています。

原子炉をもつ米原子力空母は、いったん事故が起これば、首都圏3000万人の命と暮らしが奪われます。

この日米同盟を基軸とした軍事大国化で、国民には年間 8兆円もの負担が押しつけられます。

みなさんは、この事実をどう考えるでしょうか。わたしたちは、一人ひとりの命を一番大切にしながら、県内米軍基地の撤去に向けても声をあげ続けています。



さらに、攻撃型戦闘機F35Bを搭載する自衛隊空母やトマホーク搭載艦、長射程ミサイル搭載艦など敵基地攻撃の一大拠点に変貌しつつあります。

日米同盟強化のもとで、県民には、米軍による交通事故や女性暴行事件、PFAS流出による犠牲が強いられてきました。

こうした「戦争する国づくり」の流れに対して、全国で新たな広がりが始まっています。横須賀でも、超党派の市民団体・政党で作られたトマホークアクション2025が共同し、トランプ高市両首脳訪問に抗議を行いました。



横須賀、神奈川県を絶対戦争拠点にさせない、大軍拡をストップし、「軍事費を削って暮らしにまわせ」というみなさんの思いを全国に示すためにこの集会にお集まり下さい。

去年の様子

